

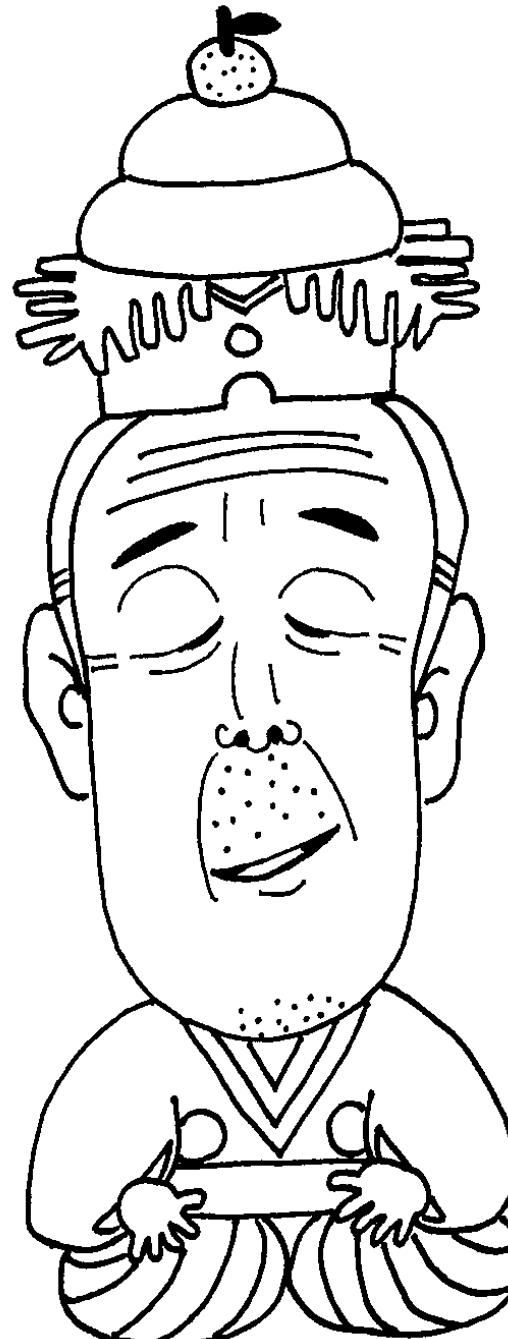
# いにわくよみ

あけましておめでとうございます。

ニックネーム：

本誌へのメッセージ：

（複数行用）



## ほっとニュース

### 演芸会開催！

今年の演芸会は、午後の部にて病院職員結成の「樂樂」によさこいでオープニングを飾っていただき、招いた近隣の保育園児と共に体育館前花壇へ花植えを行いました。その後、園児達による勇壮な和太鼓や遊戯等による多くの元気を患者さんと共に貰いました。午後の部では、各部署からのハンドベル演奏・ダンス・合唱等、さまざまな催しを披露していただきました。表彰に輝いたのは、東3病棟とデイケアです。エンディングをバンド演奏で締めていただき、大いに盛り上がり患者さんとひとつとなり楽しい時間を共有しました。関係者の皆さんおつかれさまでした。



### ●外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	初診	中澤	金原 (第2中瀬)	野村 (第3高山)	河合 (第2高山)	林 (第4中瀬)
	再診	高山	中澤	林	西浦	大井
午後	再診	河合	西浦		高山	
			野村			

担当医は都合により変更になる場合があります。ご了承ください。

### 理念

### ささえあい、ともに生きる

#### 基本方針

- 患者さまや地域の皆さんに、信頼され選ばれる病院づくりを行います。
- 患者さまが地域で快適な生活が送れるよう、積極的にサポートします。
  - 患者さまの人権を尊重し、きめ細かく配慮します。
  - 患者さま一人一人の治療プランに添った医療を行い、一日も早い家庭・社会復帰を目指します。
  - 地域におけるメンタルヘルスに積極的に取り組みます。
    - 医療の質向上に向けて日々研鑽を積みます。

### 編集後記

今号は「新年のご挨拶」などをお伝えしました。さて、広報委員のスタッフは「Live with すずか」の名のとおり、皆さんと一緒に創っていきたいと考えております。本誌へのご感想やご要望・ご意見がございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL・059-382-1401(代表) FAX・059-382-1402  
Eメール・info@skh.miekosei.or.jp

三重厚生連 鈴鹿厚生病院

第32号  
2013.1月

発行／三重県厚生連鈴鹿厚生病院  
編集／TCK 名古屋  
所在地／三重県鈴鹿市岸岡町589-2  
TEL／059-382-1401  
ホームページ／http://www.miekosei.or.jp/skh/

# ともに生きる… Live with すずか

地域の皆さんのお役に立ちたい情報誌



## 2013年 新年のご挨拶

### スーパー救急

昨年より三重県から「精神障害者アウトリーチ推進事業」の委託を受けモデル事業として稼働をはじめ 1 年が経過いたしました。

おかげさまで、市役所などを経由して多くの問い合わせがあります。入院治療を前提とせず、住み慣れた地域での継続した生活が送れるよう支援するこの取り組みは、三重県がモデルケースとなっているため、他県からも見学に来られます。今年度も引きつづき、多職種チームが必要に応じて訪問支援を行ってまいります。

※アウトリーチ(outreach)は、“手を差し伸べる”という意味の“reach out”に由来する英語で、福祉分野においては奉仕活動などの意味を持ちます。

昨年スタートしたスーパー救急の高規格な施設基準のひとつに「個室が病棟の半数以上であること」があります。

この個室が大変好評です。そもそも、スーパー救急とは集中的な治療の必要性を認めた患者さんに対して短期の入院期間に質の高い治療を行い、一日でも早く退院へと結びつくように多職種の人員を配置し、より良い救急医療を提供するといもうのです。退院後もスムーズに生活ができるよう、入院生活の後半をこの個室で生活することが、社会復帰の一助となるようです。今年度は、他の病棟にも個室を増やす予定をしています。

今年も引き続き、地域精神科医療の拡充にむけ邁進してまいります。



三重県厚生連  
鈴鹿厚生病院  
院長 西浦 真琴



新年のごあいさつは、ちょっとだけわざわざかたくなるので、今号は西浦院長が愛される理由を少しだけお伝えします。

実は、院長、医大生の頃、国家試験も受けずに大学も行かず何をしていましたかというと出稼ぎの人たちにまじり、飯場生活を 2 年行ったそうです。そんな時、お父様ががんを患われ、その時の遺言で「頼むから医者になつてくれ」といわれたから医者になつたのだという変わり種。

皇學館の教授を父に持つ 4 人兄弟の長男です。肉体労働を経験し、少しだけ遠回りをして医師になった西浦院長。みんなに愛される理由が少しだけわかりましたか？

## 心の健康セミナー 誌面版

心の健康セミナー誌面版は「こころ」に関するテーマに沿って毎号連載していくコーナーです。

毎号  
連載!

## 「看護部長のご挨拶」

新年あけましておめでとうございます。平成24年10月より前鈴木看護部長の後任として看護部長に就任いたしました。このような大役を仰せつかり、責任の重さをしっかりと感じています。昭和54年4月に鈴鹿厚生病院に就職し34年がたちました。まさか男の私が看護部長になり、挨拶をするなどとは思ってもいませんでした。しかしながら就任を引き受けたからには、微力ではございますが鈴鹿厚生病院の発展の為、力を尽くす所存でございます。

まずは自己紹介をさせていただきます。生年月日は昭和32年2月4日生まれの55歳、津市出身、家族構成は両親と妻、子供二人と柴犬メス一匹の家族です。趣味という趣味がなく、あるとすればドライブです。ただ車を走らせ遠くへ行きたいだけであり、耐久を楽しんでいるみたいで家族には嫌がられています。学術集会への参加も国内はほとんど車で回り、今の車はもうすぐ10年で19万キロになりました。ただわりといいえばタバコはピースライト、ウイスキーはサントリーの角瓶とどうも変なところ



### スマイリー バトン リレー

#### 西1階病棟

当

病棟は55床で、認知症治療病棟です。著しい周辺症状により、家庭や施設での対応・療養が困難になった方に対し、短期集中的治療・ケアを行っています。患者さんが、安心できるよう「寄り添う看護」を心掛け、入院時からクリニカルパスを取り入れ、他職種と共にカンファレンスを行い、退院に向けて援助しています。主な活動は、日常生活機能訓練、作業療法、レクレーション、グループ活動や回想療法など個人に応じた看護を実施しています。

vol  
32

## Suzuka Kosei Live Topix リブトピ

### シリーズ④ アウトリーチの現場から



看護部長  
稻垣 秀志

#### アウトリーチとは何なのか。

実際にアウトリーチの現場で働く精神保健福祉士である「アコ」(仮名)と相談者である「サチ」(仮名)。そしてその家族の様子を連載でお伝えします。

アコ:「こんにちは、こんにちは、おじゃまします」

旦那さん:「ああ、いいから 入ってください。奥の部屋です。」「おい! さち! 保健所さんと病院の人人が来てくれたぞ! ちょっと出てきたらどうや!」

「またかあ、内側からつかえ棒してますわ」

夫は強引に襖を5センチほど明けた。  
「見てやってください、真っ暗やから何してわかるませんわ」

アコ:「こんにちは、突然おじゃましません。○○といいます」

サチ:「.....」

アコ:「ずいぶん寒くなりましたねえ。お身体の調子はどうですか。」

サチ:「.....」

旦那さんと息子さん、保健師とアウトリーチチームのチームドクター、看護師、作業療法士、精神保健福祉士であるアコは話し合いを重ねた。過去の治療状況や成歴などの情報を集めた。ようやく今日 初回の訪問を行った。しかし家の雨戸は締め切られ、サチさんの部屋は内側からつかえ棒がされていて中の様子はよくわからない。

アウトリーチの定石は強引に対象者への接触を行わない。対象者からみれば、どのだれかもわからない人が突然自宅に入ってきて「こんにちは、調子はどうです

か」って誰だって警戒するし、怖い。当たり前のことだ。さらにサチさんの治療歴を調べてみると往診による入院が数回あった。これは(本人からみれば)強引に室内に押し入られ、精神科病院へ入院しているということである。

アコをリーダーとするアウトリーチチームは、話し合いによって緊急性はないと判断しサチさんの病状観察と更なる情報収集のために定期的に訪問することとした。毎週金曜日11時。これには理由がある。毎週同じ時間に訪問することで、接触はできないかもしれないが、「毎週同じ時間に訪ねてくるけど、どうも危険はなさそうな人たちだ」と感じてもらうためだ。そして2か月が経とうとした頃、「。。。いそがしい、いそがしい」といいながら床の拭き掃除をしているサチさんに会うことができた。

アコ:「(やっと会えた~!) こんにちは。おじゃまします。え~っと○○といいます」

サチ:「.....(チラリとあこの姿に目に止めたが、すぐに床の掃除にもどった)」

アコ:「おそうじですか、大変そうですねえ。いつも勝手におじゃましてすみません」

サチ:「。。。いそがしい、そうじしてもそうじしても。。。」

アコ:「いそがしそうですねえ、おじゃましてすみません。。。、会えてうれしいです。ではまた来週この時間にお邪魔させてください、失礼します」

サチ:「.....」

アコ:「(やっと会えた~! 第一関門クリアかなあ、さて次からどうしよう。。。)

～次号へつづく

## ♥ わかさぎのカレーフライ ♥

### ◆わかさぎ

わかさぎ釣りは冬の風物詩として有名です。骨ごと食べることが多く、効率よく栄養がとれます。カルシウムを摂取しやすいので骨粗鬆症予防やイライラを解消する効果も。鉄分も多く含むので貧血予防にもおすすめ。小ぶりな魚なので、少量の油で手軽にフライができますよ。



### 新鮮なわかさぎ選びの Point

ピンとはて透明感があり、銀色に光っているもの。

- わかさぎはさっと洗い、水気をふく。
- 下ごしらえ用調味料を合わせ、わかさぎとからめて5分ねかせる。
- ビニール袋に②を入れ、小麦粉を加えてまぶす。
- 続けて、溶き卵→パン粉の順につける。
- フライパンに油を熱し、④を入れてこまめに返し、全体にきつね色になったら取り出して油をよく切りできあがり。

## 院内散策 憩いの POINT

今回は

中庭の花壇です。

みんなで植えたパンジーが

いい感じなんです。

寒い中 きれいに咲いてます。

冬に咲く花も すてきだなあ。

日向ぼっこしながら

ほ~っと見てたいですね。



### 作業療法 作品紹介

#### 作品名 「座布団カバー」

##### 作者のコメント

いろいろ教えてもらって完成しました。

